

ガバナー月信 Vol.2

GML

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

入って良かったロータリー

Rotary
第2570地区



8

行田／浮き城まつり

行田浮き城まつりは、毎年7月の最終土・日曜日に開催される行田市の夏の風物詩です。
土曜日には前夜祭として、行田市駅入口交差点前で
のステージイベントやフリーマーケットなどが開催
され、日曜日には浮き城だんべ踊りパレードを中心
に、御神輿や山車も出て盛り上がります。
ふるさと行田を実感する瞬間です。

CONTENTS

- P 2 五十幡ガバナーメッセージ
- P 4 会員増強・新クラブ結成推進月間 会員増強委員会委員長
- P 5 DEIについて DEI委員会委員長
- P 7 委員長挨拶 (地区ラーニング委員会/RLI担当委員会/地区戦略計画委員会)
- P 8 委員長挨拶 (危機管理委員会/国際大会推進委員会/DEI委員会/ローターアクト委員会)
- P 9 年度初め地区役員合同会議報告
- P 10 青少年交換プログラム派遣生/月信委員会メンバー紹介
- P 11 表彰・新会員・訃報
- P 13 会員数・スケジュール



各クラブ2名以上の 会員数純増とDEIの推進！

— 会社経営と同じように目標を立て、
会員増強を戦略的に考える —

2024-25年度 国際ロータリー第2570地区
ガバナー

五十幡和彦 (行田さくらRC)

Isohata Kazuhiko



なぜ会員増強が必要なのか？

私たちロータリークラブの目的は「奉仕の理念で結ばれた会員が、世界的なネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」です。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕という5大奉仕もクラブの活動も地区の活動も、全てこの奉仕目標の達成のためにあります。

そしてこの奉仕活動プロジェクトを達成するためには多くの会員の力が必要となります。クラブの奉仕活動においても、ポリオ根絶活動においても、より大きな奉仕プロジェクトを実現するためには、より多くの会員と共に活動を行うことが必要です。

クラブの未来を、戦略的に考える

ロータリークラブを構成する多くの職業人は事業所において単年度、中期、長期、それぞれの目標を定め、それを達成するための戦略や計画を考えています。

ロータリークラブにあっても会員が集う組織として、それぞれのクラブの単年度、中期、長期にわたる目標と戦略計画を立てることが必要です。

戦略計画立案プロセスは「第1段階：現状分析／クラブの現状はどうか？」、「第2段階：ビジョンの作成／どのようなクラブになりたいか？」、「第3段階：計画の作成／どのようにビジョンを実現出来るか？」、「第4段階：進捗の確認／目標への進み具合はどうか？」から成っており、この戦略計画の立案はホームページからフォーマットをダウンロードし、埋めていくことで作成出来ます。



3年後のクラブの会員数と平均年齢を考える「3-Year goals／3年間の目標」

RIはさらにこの戦略計画を、行動計画に定める4つの優先項目「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的な関わりを促す」「適応力を高める」に基づき、年次基金、ポリオスラス、会員純増数、奉仕活動の参加者数、クラブの戦略計画の有無の項目に細分化し、3年間に渡るそれぞれの年度の目標と達成状況を求めています。そしてこの行動計画項目の中心こそ会員数の純増です。

3年先を考えるとクラブの会員は3歳年を重ねます。新会員が入ってこなければ平均年齢が3歳上がります。5年後には5歳上がります。こうした年の積み重ねの中では会員の高齢化、病気、事業所からの引退などでクラブを継続出来ない会員が出てくるかもしれません。クラブの奉仕活動が継続出来なくなるかもしれません。世界平和を目標として奉仕活動を行うロータリークラブには、常に会員の増強が必要です。そして会員が増強出来ないクラブはやがて存続の危機に直面してしまいます。そのためには各クラブ2名以上の会員数純増が必要です。



<https://www.japanrotary.club/3yeartargets>

会員数が増えれば、より大きなインパクトをもたらす奉仕活動が可能になる！

会員増強には、戦略計画に基づき現状を知ること、そして奉仕プロジェクトを行うためにどのような会員数が必要か、目標を立てることが必要でした。それではどのようにしたら会員数を増やすことが出来るでしょうか？

私は2017-18年、行田さくらロータリークラスの会長を務めさせていただいたとき、会員皆さんの多大なる協力を得て新会員を10名増やすことが出来ました。会員数40名台のクラスから50名台のクラスになって、クラスの奉仕予算が大きく増え、それにより大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトが出来るようになりました。



どのようにして会員を増強するのか

■クラブ会長と会員増強委員長は

- ① 会社の経営と同じように、会員増強の目標を立て会員増強を戦略的に考える
- ② 成功しているクラブの事例を会員に紹介し、他のクラブで出来るのなら自分達のクラブでも出来るはずという希望を示す

■会員増強委員会は

- ③ 年度の始まる前から委員会を開催し、候補者リストを作成し、毎年引き継ぐ
- ④ 毎月委員会を開催し、候補者の状況を報告し合う

■会員は

- ⑤ 日頃から縁を大切に、候補者に他の奉仕団体よりも先に声をかける
とりわけ会社の経営と同じように目標を立てて会員増強を戦略的におこなうことと、
会員増強委員会を毎月開催し、候補者への勧誘状況を報告し合うことが大切です

DEI、入会者へのフォロー

会員増強において必要な考え方はDEIです。クラブの会員基盤は様々な職業、年齢、性別で構成されることにより、閉鎖的なイメージがなくなります。また多様な会員種類を設けることで、幅広い経験や知識を持った人が集まり、魅力的なクラスになります。

ロータリーでは性別・人種・国籍・宗教などで会員資格を制限することを禁じています。

そしてせっかく入った新会員には、他の会員と早くなじめるように例会他でフォローすることが大切です。会員がクラスに参加して楽しいのは、①居心地が良いこと、②自分が大切にしてもらえていることです。

そのためにクラスはDEI(多様性、公平性、インクルージョン)を推進し、あらゆる人が歓迎されるクラスにすることが必要です。

奉仕活動に参加したいという社会の多様なニーズに対応する

ロータリーは創立時に職業人から構成されていましたが、2007年に財団学友、地域社会活動参加者を正会員に、2013年には仕事をしたことの無い人、または仕事を中断している人、専業主婦(夫)も正会員となり、2019年にはクラブの会員数に応じて同業者数が制限されていましたが、これも廃止されました。

ロータリーは奉仕活動に参加したいという社会の多様なニーズに対応するように変化してきました。そして会員増強の対象も、こうしたニーズを受け入れるべく変化することが求められています。



会員増強・ 新クラブ結成推進月間

2024-25年度 国際ロータリー第2570地区
会員増強委員会 委員長

原島 生慈 (秩父RC)

Harashima Seiji

8月は増強月間です。

現在世界中のロータリーでは会員が減少していて、増強が最大の課題となっています。もちろん会員数が増えている国もあります。

会員数減少の原因はいろいろ考えられます。世界的パンデミック、戦争の影響下での経済の低迷、他の奉仕団体の広まり等々が考えられます。現状のままでは、100年以上続くロータリーも維持が厳しい状況になる事は想像に難くありません。ロータリーは各クラスが主体であり、地区がありゾーンを形成して、RIが統括する組織です。従って会員を増やすのも各クラスが主体とならなければなりません。

増強をするためには二点を考えることが重要です。一つ目は各クラスが新会員を受け入れる体制になっているかということです。この体制が出来ているかの指針が「DEI」です。多様性・公平性・包括性を各クラスが各会員に共有出来ているからこそ、新会員が安心して入会できるのではないのでしょうか？いまだに閉鎖的な考え方では、新会員は入会を躊躇してしまいます。

二つ目が会員以外の一般の方々にロータリーの活動を告知できているかということです。この周知活動が「公共イメージ」だと思います。もちろん各クラスでの活動は様々ですが、ロータリー精神に添った活動であるなら自信をもって周知すべきです。評価は他者がするのですから。また、別の方法で会員を増やす方法として、新クラスを作ることも考えられます。いずれにせよ会員を増やすことを各クラスの会員が本気で思っているかが前提です。ロータリーは不連続の連続ともいわれます。各年度の会長がそれぞれの方針でクラス運営をするので、単年度で増強するのに難しさもあります。

そこで考えていただきたいのが「3年計画(Three Year Targets)」です。

会員数が多いクラスは更なる増強を考え、会員数が少ないクラスこそ3年計画を立てての増強を一緒に考えませんか？

現代は時代の流れは早い！その流れを見極め未来に向かうために既成概念を見直して、若い世代にロータリー精神を繋げるためにも会員増強を本気で検討しましょう。「いつやる？今でしょう！」(既に古いですね)

増強委員会も各クラスに訪問をしながら一生懸命に皆様の活動をお手伝いします。





DIVERSITY ダイバーシティ
EQUITY イクイティ
INCLUSION インクルージョン

2024-25年度 国際ロータリー第2570地区
DEI委員会委員長

栗原 雄一 (川越RC)

Kurihara Yuichi

DEIについて皆様はどのように思われますか？

英語の頭文字で解り難いとか、調べたが意味が難しいとか、内容を知っている方なら日本での推進は難しいとか色々なご意見があると思います。

国際ロータリーが提唱する「DEI」をクラスのミッションとして取り入れ、メンバーの帰属意識や居心地の良さをさらに充実させ、クラスの活性化に繋げることはもとより、クラスメンバーが多様性を理解することで、色々の方たちの参加を促すことが機会を増やすことであると考えます。

五十幡和彦ガバナーの「クラブに参加して会員が楽しいと思うこと」とは…

- ① 居心地が良いこと
- ② 自分が大切にしてもらえていること

そのためにクラスはDEIを推進し、あらゆる人が歓迎されるクラスにしましょう。
まず、最初にロータリーにおけるDEIの意味と各クラスにおける理解促進を目指します。

DIVERSITY ダイバーシティ **多様性**

ロータリーはあらゆる背景をもつ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します。

EQUITY イクイティ **公平さ**

ロータリーは、クラス会員の公平な扱いと機会の均等を保つよう努めています。

INCLUSION インクルージョン **包 摂**

ロータリーは、あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラスの環境づくりに力を注いでいます。

包摂の意味とは、一つ事柄をより大きな範囲の事柄の中にとりくむこと。
ここでは、異なる背景や意見を持つ人々を、お互いに尊重しながら協力出来るような大切な概念だ
と思います。
具体的に推進していくのに次のことが考えられます。

① ロータリーにおけるDEIについて詳しく知ることが出来ます。

- ロータリーでのDEIへの取り組みについて目を通す。
- ロータリーの行動規範を確認します。
- ロータリーのラーニングセンターでDEIコースを受講する。
- 「クラス会員基盤の多様化」の評価ツールを利用できる。

② DEIが自分のクラブや地域において重要である理由を確認するためにDEIの推進によってもたらされる次の効果について検討しましょう。

- 私たちと関わる全ての人が歓迎され、尊重され、大切にされていると感じられる、安全で居心地の良い環境を構築出来ます。
- クラスや地区の発展と成長を促します。
- クラスや地区への会員の積極的参加を促します。
- 新規会員や入会候補者を見つけやすくなります。
- 地域社会でより大きなインパクトをもたらすことができます。
- クラスがより多くのリソース、アイデア、パートナーシップを活用できるようになります。

③ DEIについての認知度を高め、理解を深めるために、次のことができます。

- 地域社会の属性を反映するクラスのDEI委員会を創設し、クラブ会員に参加を促します。
委員会はクラスの理事会メンバーが務めることが望ましい。
DEIについての取組を、クラスや地区のニュースレターに反映させるようにします。
多様性や地域社会の懸念事項を反映したコンテンツを取り上げましょう。
各エディションにおいて、DEIについての課題や概念を説明する専用のセクションを設けることを検討します。
- DEIの視点でポリシーや規約を見直します。現在および将来のすべての会員にとって公平なポリシーとなるように変更を加えることを検討します。
- 地区ガバナーは地区リーダーやクラスリーダーがその責務を果たす際に新しい意見に耳を傾けるように促し、これまでリーダー職に付く機会が少なかった人びともリーダーシップを発揮できる機会を広げます。
特に地区リーダーの役割に就く人を任命または推薦するときは、無意識のバイアスを認識し、これを取り除くようにします。
- 自分の地区の属性を反映する地区DEI委員会を創設し、会員に参加を促します。

④ クラブ内および地域社会内でDEIについて行動を起こすために、次のことができます。

- より知識が豊富で効果的なDEIの推進となるために、地域社会の少数派グループについて学びます。講演を聞いたりイベントに参加したり、ソーシャルメディアでこれらのグループに属する人をフォローしたり、その人が書いた本や記事を読んだりする機会を見つけましょう。
- コミュニティフォーラムや討論会を主催して、より多くの参加者にDEIについて紹介し、ロータリーのDEIに対する取り組みを説明します。
- クラスや地区のイベントおよび研修会に、DEIについての課題に関する講演、事例、プログラムを取り入れます。地域社会の属性がコンテンツ全般に反映されるようにします。
- DEIについて課題を扱う本や、多様な作家の著書を読む読書会を主催します。
- 多様性と公平さに対する取り組みを実践している、LGBTQ+スライドイベントや多文化イベントに参加している、または国際女性デーなどの国連の定めに従っている地元の企業を表彰します。

委員長挨拶



地区ラーニング委員会

渡邊 藤男 (熊谷南RC)

Watanabe Fujio

参加者を活動の中心に据えることを求める行動計画の一環として、ロータリーでは、研修モデルからラーニングモデルにアプローチを変えようとしています。

これは、会員がラーニング(学び)に積極的に関与し、それを自らコントロールできるようにすることを意味します。また、ロータリーのラーニングにおけるリーダーの役割が、会員が「知るべき」だと思ふ情報を教える「講師」としてではなく、会員がアイデアを共有できるよう導く「ファシリテーター」としての役割を果たすことを意味します。会員の皆様には、ロータリーのラーニングセンターを利用していただく必要があります。

ラーニングセンターを利用するにはMy ROTARYへの登録が必要となりますのでまず初めに登録をお願いいたします。ラーニングセンターでは色々な、コースや学習プランがあり自分のペースでロータリーを学ぶことができます。五十幡ガバナーの方針にもあります通りMy ROTARY登録推進、ラーニングセンター活用推進等をラーニング委員会では進めていきたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



地区ラーニング委員会 RLI担当委員長

新島 修一 (深谷ノースRC)

Nijima Shuichi

<ロータリーの全体像を楽しく学ぶ>

ロータリーをもっと楽しみたいと思っている方。

ロータリーを自分の人生を支える一本の柱にしたいと思っている方。

RLIの研修会でロータリーの全体像を楽しく学びましょう。

ロータリーの友情・理念・活動の広さと奥深さを、従来のセミナーや講義を聞くスタイルでなく、参加者は10人位のグループに分かれ決められたテーマについて、みんなで意見を出し合って学んでいく形式です。他クラスの状況や活動・友人を増やすイ機会にもなります。



地区戦略計画委員会 委員長

水村 雅啓 (入間)

Mizumura Masahiro

3年間の目標と計画(3-year Rolling Target / Plan)の実施、RI会長の年次テーマとロゴの作成及び会長イニシアチブの廃止…。今、ロータリーの活動環境は大きく変化しています。

国際ロータリーは、ロータリーのアクションプランの4つの優先事項に基づいて、各地区、各クラスがその地域にあった目標と計画を立てることがロータリーの発展に必要であると考えています。こうした動きに対応して、当地区としても長期目標(地区ビジョン)を作成し運営体制のあるべき姿を明確にしていきたいと考えます。本年度は、その検討、作成に向け活動していきます。

委員長挨拶



危機管理委員会 委員長

高柳 育行 (本庄)

Takayanagi Yasuyuki

青少年に関わるプログラムを通じて、私たちは貴重な体験の機会をいただいています。しかし、ちょっとした配慮不足が、青少年だけでなくプログラムに関わる人たちに、思わぬ不幸な経験をさせてしまうことが考えられます。地区としましては、ロータリーの活動に関連して起こりうる危機に対し、率先してその社会的責任を全うする必要があるとの認識のもと、危機管理委員会を設置し、迅速かつ適切に対処できるよう取り組んでまいります。しかし「危機」というような事案が発生しないことが望ましいことです。ロータリー活動を通じて、皆様が素晴らしい経験ができるよう、危機事案のない地区を目指して、共に取り組んでまいりたいと思います。



国際大会推進委員会 委員長

相原 茂吉 (川越)

Aihara Mokichi

五十幡年度の国際大会はカナダ西部に位置するアルバータ州のカルガリー。2025年6月11日～25日に開催されます。

国際大会参加の目的は①ロータリーが世界組織であること②自分がその組織の一員であること、を体感する事にあります。世界中から集まってくる様々な人種のロータリアン達、その渦の中に交じている自分を感じる絶好の機会であり、ロータリーに対する認識やモチベーションもきっと深まるに違いありません。またカルガリーの周囲は、カナディアンローッキーの雄大な山々や美しい湖など、感動間違いなしの自然絶景が待ち構えております。今年度のテーマは「入ってよかったロータリー」。国際大会も「行ってよかった国際大会」となることでしょう。奮って、ご参加ください。



DEI委員会 委員長

栗原 雄一 (川越RC)

Kurihara Yuichi

五十幡ガバナーの掲げる「入ってよかったロータリー」の更なる実現に向けて一年間邁進して参ります。

一人ひとりのメンバーが、各クラスにおいて①居心地が良いこと②自分を大切にしてもらえることを、今まで以上に実感してもらえるような変化をもたらす一つ的手段として、DEIの推進です。すなわち多様性、公平さ、インクルージョンの原則を理解し取り入れ行動していただけることで、その先には会員増強に繋がると信じています。そして、ロータリーの中核的価値観(親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ)の反映したロータリーの行動規範にある他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎えるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじることなどを考えクラスサポートをしていきますので宜しくお願いします。



ローターアクト委員会 委員長

中村 幹也 (坂戸)

Nakamura Mikiya

2570地区のロータリアンの皆様、新しく地区の青少年奉仕プログラムより独立して、ローターアクト委員会が発足いたします。当地区には、2つのアクトクラスが大学を主体として活動しています。コロナ禍も明けて、学生諸君は現在活発に活動を再開・展開しています。私も委員会は彼らの活動を提唱クラスと共に応援・支援していくとともに、新たなアクトクラスを提唱・設立を準備しておられるRCをサポートしてまいります。是非皆さまにも若い諸君を応援してやろうという志をお考えがあれば、一緒に進めてまいりましょう。いろいろとありましようが、若い諸君と共に活動し、彼らから得られる物、与えられる物は大きいと思います。彼らも我々ロータリアンから得られる経験は、これから社会に出たときの大きな財産になると信じております。



年度初め地区役員合同会議

2024年7月6日(土) 川越プリンスホテル

地区幹事

田島 博夫 (行田さくらRC)

Tajima Hiroo

川越プリンスホテルを会場として、7月6日土曜日に開催されました。多くの参加者を迎え、ガバナーの挨拶も一段と冴えまくりました。決められた時間でしたが、盛りだくさんのご挨拶をいただきました皆様に、心より御礼を申し上げます。

記念講演をいただきました細井パストガバナーも、ますます際立つ熱のこもった講演でした。この五十幡ガバナー年度オープニングの合同会議に参加された多くの皆さんが「入って良かったロータリー」と感じられたのではないのでしょうか。



青少年交換プログラム

派遣生紹介



小松 愛華 こまつ まなか

大宮開成高校1年生 東松山むさし

私は、今年度から次年度へかけ、フランスへ派遣していただくことになりました。

語学習得も目標の一つですが、まず第一に派遣先では多くの学生と交流し、自分の知らなかった世界を知り、また、日本についてたくさん知ってもらいたいです。



笹岡 優心 ささおか まみ

大妻嵐山高等学校2年生 小川

皆さんこんにちは。私は台湾に派遣させて頂く事になりました。言葉の壁や文化の違いはありますが、どんなことにも諦めず挑戦し、より多くの事を学び経験を積みたいです。最後に、日本の文化のすばらしさを伝えと共に、台湾の文化を多くの人に伝えたいです。



得能 彩世 とくのう さよ

大妻嵐山高校2年生 入間南

イタリアでは日本の良さを沢山伝えて、友達をたくさん作りたいです。又、生活の中で、実際に直で見て学び、沢山の魅力を吸収してそれを将来に生かしていけたらと思います。この経験をさせて頂けることに感謝し、精一杯楽しみながら頑張りたいと思います！



新嶋 里依 にいしま りい

本庄第一高校2年生 本庄

2570地区では初めてチェコへの派遣なので、みなさんの期待に添えるように頑張りたいと思います！

日本の文化やマナーを広めチェコの文化や言語を沢山学び、世界の友達を沢山作りたいと思います！頑張ります！！



北村 夏咲 きたむら なつき

狭山清陵高校3年生 所沢東

私はこの交換留学を通し、言語と、勉強している手話をインドネシア手話も覚えることを大きな目標としようと思います。

また、多くの文化を知り、多くの人と関わりたいので、私から積極的に行動し、“やってみる！”という言葉大切にしようと思います。

ガバナー月信委員会

わかりやすく速やかに地区の情報を発信して参ります。よろしくお願いいたします。



委員長 川野 健人
行田さくら



副委員長 松岡 由浩
行田さくら



飯塚 秀司
行田さくら



神田日出雄
行田さくら



梁瀬里司
行田さくら



渡辺 昭孝
行田さくら



表 彰

米山功労者マルチスル 27回



行田さくら

細井 保雄

米山功労者 1回



所沢西

内野 忍

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 2回



羽 生

堀口 喜一郎

ポール・ハリス・フェロー 1回



羽 生

仲田 恭久

ポール・ハリス・フェロー 1回



飯 能

大野 泰規

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 2回



飯 能

森 健二

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 2回



飯 能

大崎 光二

新会員



所沢西

青木 芳憲

2024/6/18入会

武蔵野銀行 所沢支店長

紹介者 本橋源太郎



岡 部

金子 将朗

2024/7/1入会

(株)バインドワークス 代表取締役

紹介者 三木正行



川 越

鬼頭 輝之

2024/4/16入会

野村證券 川越支店長

紹介者 馬場 弘・岩堀和久



川 越

小林 徹

2024/4/16入会

埼玉縣信用金庫 川越・川越南支店長

紹介者 藤倉省一・小高 章



川 越

吉岡 明寛

2024/4/16入会

武蔵野銀行 川越支店長

紹介者 坂口孝・今泉博・相原茂吉



川 越

長嶋 史弘

2024/4/16入会

(株)ラクロ 代表取締役

紹介者 坂口 孝・小林勇次郎



川 越

高木 寛和

2024/4/23入会

日本生命保険(相)川越支社長

紹介者 片山幸雄・今泉博



熊谷南

山岸 功

2024/7/3入会

置ヤマギン本店 代表

紹介者 小野寺弘行・植野智恵子



熊谷南

グレゴリーレプカ

2024/7/10入会

航空自衛隊基地 米軍交換将校 教員

紹介者 岡本庄一郎・川岸 勝



秩 父

香川 ユニア

2024/7/2入会

(株)レノナック 秩父事業所長

紹介者 宮前隆一



秩 父

黒澤 剛

2024/7/2入会

(株)黒澤工務店 代表取締役社長

紹介者 三上一郎・宮前 勉



秩 父

新井 利幸

2024/7/2入会

(株)新井精密 代表取締役社長

紹介者 山根益男



深谷東

河田 輝夫

2024/6/21入会

東洋印刷(株) 代表取締役

紹介者 村岡敏弘



深谷東

中原 佑樹

2024/6/21入会

(株)ライフデザイン 代表取締役

紹介者 村岡敏弘



深谷東

北岩 孝志

2024/6/21入会

日成運輸(株) 代表取締役

紹介者 村岡敏弘



深谷東

川島 良督

2024/6/21入会

(有)川島機工設備 代表取締役

紹介者 村岡敏弘



鶴ヶ島

鐵 晃次郎

2024/7/3入会

(株)イースタッフ 代表取締役

紹介者 菊田真忠



深谷ノース

原口 守

2024/7/1入会

紹介者 横田政弘



羽 生

和田 馨

2024/7/2入会

日本生命羽生営業部長

紹介者 中嶋理恵子・田邊将宏

訃 報

心よりご冥福を
お祈り申し上げます



所沢 2003~2004年度会長

新井 重雄

逝 去 2024年 6月 6日 享年77歳
入会日 1983年 3月 8日 在籍41年

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

会 員 数 (人)						My Rotary
クラブ名	2023 年度初め	2024 6月 末	対 年 初 増 減	女 性 会 員	登 録 率 (%)	
第1グループ	川 越	97	99	2	4	45
	東 松 山	22	23	1	2	35
	小 川	7	5	-2	1	0
	坂 戸	28	28	0	1	20
	越 生 毛 呂	10	8	-2	1	0
	川越小江戸	10	15	5	2	47
	川 越 西	24	26	2	4	36
	鶴 ケ 島	30	30	0	3	67
	川越中央	23	21	-2	1	19
	坂戸さつき	20	19	-1	3	20
	東松山むさし	39	37	-2	4	28
合 計 (11RC)		310	311	1	26	avg. 29
第2グループ	朝 霞	21	23	2	2	50
	志 木	41	48	7	4	46
	富 士 見	35	37	2	0	36
	新 座	22	25	3	4	16
	和 光	12	4	-1	1	33
	新座こぶし	8	9	1	3	40
合 計 (6RC)		149	165	-3	16	avg. 36
第3グループ	入 間	39	38	-1	1	42
	所 沢	58	64	6	5	22
	飯 能	65	65	0	1	10
	新 所 沢	17	19	2	2	32
	日 高	20	20	0	3	35
	所 沢 西	35	39	4	4	31
	新 狭 山	18	14	-4	0	86
	所 沢 東	49	46	-3	1	30
	入 間 南	39	38	-1	0	47
	所 沢 中央	18	18	0	2	78
	狭 山 中央	19	19	0	5	37
合 計 (11RC)		377	381	4	24	avg. 41
第4グループ	深 谷	58	54	-4	12	46
	本 庄	92	89	-3	7	38
	秩 父	48	51	3	1	37
	寄 居	33	35	2	0	9
	児 玉	2	2	0	0	0
	岡 部	16	17	1	2	63
	深 谷 東	63	73	10	0	35
	皆野・長瀬	6	7	1	0	29
	深谷ノース	25	24	-1	2	48
合 計 (9RC)		351	352	20	24	avg. 33
第5グループ	熊 谷	95	98	3	4	50
	行 田	56	54	-2	5	13
	羽 生	40	37	-3	2	13
	加 須	23	23	0	0	9
	熊 谷 西	8	7	-1	0	25
	行田さくら	51	50	-1	2	75
	熊 谷 東	20	17	-3	0	20
	吹 上	6	5	-1	0	80
	熊谷籠原	30	32	2	0	38
	熊 谷 南	28	27	-1	2	41
合 計 (10RC)		357	350	-7	15	avg. 36
合 計	クラブ数	年度初め	6月末	増 減	女性会員	MyRotary登録率
	47	1,544	1,539	-5	103	36

SCHEDULE 主な活動スケジュール

8月

- 1日 (木) 本庄公式訪問
- 2日 (金) 熊谷公式訪問
- 3日 (土) 財団第1回オリエンテーション
- 5日 (月) 青少年交換第2次選考
- 6日 (火) 入間南公式訪問
- 7日 (水) 鶴ヶ島公式訪問
- 8日 (木) 入間公式訪問
- 10日 (土) クラブ行動計画推進セミナー
- 20日 (火) 姉妹地区(3502桃園)来日ウェルカムP
- 22日 (木) 坂戸、坂戸さつき公式訪問
- 23日 (金) 新狭山、狭山中央公式訪問
- 25日 (日) 青少年交換開校式
- 28日 (水) 飯能、日高公式訪問

9月

- 1日 (日) 社会奉仕委員会セミナー
- 7日 (土) 財団セミナー
- 10日 (火) 地区チャリティゴルフ大会
- 11日 (水) 新座こぶし公式訪問
- 12日 (木) 東松山、小川、東松山むさし(夜)公式訪問
- 15日 (日) 青少年交換帰国報告会
- 18日 (水) 川越小江戸、川越西公式訪問
- 20日 (金) 富士見公式訪問
- 22日 (日) 米山梅吉記念館訪問・墓参
- 24日 (火) 秩父、皆野・長瀬公式訪問
- 28日 (土) 地区ラーニングセミナー

ガバナー月信 8月号

2024-2025年度 vol.2

月信についてのお問合せ

ガバナー月信編集委員会 委員長 川野健人
kawano.kento@drive.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2-5-14 ガーデンホテル紫雲閣内
TEL.0493-21-2570 FAX.0493-21-2571
E-mail d-office@mail.rid2570.gr.jp <https://www.rid2570.gr.jp/>